

運営業務実施報告書(令和8年4月～6月分)(中間報告)

1 実施した業務の内容等(実施日時、業務名称、実施方法、内容等)

(1) 事務局設置・運営業務

- ・ 4月1日(水)より事務局を開設し、講座開講の準備をすすめた。

(2) 講座開催計画等策定業務

- ・ 令和8年度計画講座の企画実施団体又は講師と打合せをする等、講座開催時期や内容等の調整、確認を行い、年間講座開催計画を策定した(37講座)。特にコミュニティカレッジでの講座実施経験が少ない団体には講座カリキュラムや運営について個別に相談・助言を行った。
- ・ 令和8年度講座企画提案団体に選定結果通知を送付した。27団体(36講座) 4月10日発送

(3) 主催講座の企画・実施業務

- ・ 再委託をする講座企画実施団体と契約を進めた。また、当団体が企画実施する講座については、カリキュラムの調整や講師との打合せを行い受講生募集の準備をした。
- ・ 傾聴講座(入門編)(1)は40名定員に対し81名の応募があった。48名の受講決定と、落選者には、傾聴講座(入門編)(2)を案内した(同一講座)。
- ・ 横須賀市で開催される「これからの私の暮らしデザイン」講座の開設準備を行った。横須賀市立市民活動サポートセンター様、横須賀市民生局地域支援部地域コミュニティ支援課様の助言、協力も得て、カリキュラムの最終調整を行った。また、会場は横須賀市総合福祉会館を県ボランティア活動サポート課の協力を得ながら確保することができた。

(4) 連携講座の開催支援業務

- ・ 講座開催時期やカリキュラム等の確認を行い、年間講座スケジュールや募集チラシの作成など、講座の開催支援を行った。

(5) ボランティア活動未経験者層の参加促進講座(特別講座)の企画・実施業務

講座名:「みんなの社会的処方」人のつながりで元気になれる地域をつくる

日 程: 6月14日(日) 13:30～15:15 Zoomによるオンライン開催

受講料: 無料

定 員: 100名

受講人数: 122名(申込み: 140名) ※内4名は講義室で聴講

内 容: 【第1部】基調講演

「社会的処方」孤立という病を地域のつながりで治す方法

講師: 西智弘 氏

川崎市立井田病院医師／一般社団法人プラスケア代表理事

【第2部】令和8年度かながわコミュニティカレッジ開講講座の紹介

※アンケート別紙参照

(6) 修了生の地域・社会活動への参加の促進及び活動支援業務

- 令和7年度の講座修了生によって構成される団体の登録や講義室の予約など支援を行った。

登録団体	修了講座名
ウェルビーイング講座 交流会	地域でつながるあなたの第一歩“ウェルビーイングの始め方”
地域支援コーディネーター 2025 受講生のつどい	発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（実践編）
回想法実践トレーニングの会	回想法リーダー養成講座
コミカレひろば	発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座（基礎編）（実践編）
つながり-ひろがるプロジェクト	地域活動リーダー養成講座
ふわふわの会	大人の発達障がいとひきこもりを考える講座
防災教育ファシリテーター	防災教育ファシリテーター養成講座
傾聴ボランティア 傾聴かなコミ	傾聴講座（入門編）（実践編）

- 令和7年度修了生アンケートに、年間講座スケジュール、募集中の講座チラシ、令和7年度活動報告、ボランティア活動相談コーナーチラシ、ボランティアサロンリーフレットを同封し、活動促進と情報提供を行った。

(7) 受講生募集のための広報業務

- 年間開催計画をもとに、広報用パンフレット「令和8年度年間講座スケジュール」を作成し、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した（12,000部印刷、送付先 約720件 5月末に発送）。今年度は表紙デザインを変更した。
- 主催講座、連携講座、特別講座の募集チラシをそれぞれ作成、県内の公共施設等へ送付、配架依頼した。子ども家庭支援課、子ども発達・相談センター、体育館など配架先の新規開拓も行った（チラシ作成数14件、送付先 約720件）。
- 講座情報を下記の媒体を通じて告知した。
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ（県のHP及び当団体運営HP）、神奈川県庁広報X、かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジン、基金事業課・NPO協働推進課のメールマガジン、Peatix、市民活動支援センター・社会福祉協議会のWEB広報、かながわ人生100歳時代ネットワーク参加団体宛メールへの依頼等
- かながわコミュニティカレッジ登録者メールマガジンは、4月28日、5月20日、6月27日に配信を行った（メルマガ配信 4,182件 6月27日時点）。
- SNS強化のため、かながわコミュニティカレッジの講座の告知情報や様子等を、公式InstagramとFacebookから発信した。

Instagram フォロワー202人 アップ数 12件
Facebook フォロワー12人 アップ数 13件



- ・ 令和7年度に作成した「令和7年度活動報告」を、公共施設への配架やオンラインセミナー参加者に配布した。
- ・ 6月9日より、当団体のかながわコミュニティカレッジホームページをリニューアルし、情報発信を行った。 <https://komikare.soco-kana.jp/>

(8) 講座実施団体等への支援業務

- ・ 受講生募集に際し、受講生の確保と講座受入れ人数の相談、講座の内容や進め方など助言・支援等を行った。また、申込み人数が少ない講座については、チラシを増刷して新たな配架先への送付や、ボランティア活動サポート課にもご協力いただき、公共機関への広報依頼など、可能な限り充足できるよう努力している。

(9) その他かながわコミュニティカレッジ運営のために必要な業務

- ・ かながわコミュニティカレッジで令和7年度に実施した県主催 26 講座の修了生に対して、修了生アンケートを郵送した（修了生総数 543 名 延べ修了者数 656 名 調査期間は7月17日まで）。
- ・ コミュニティカレッジ主催講座の助成金・奨励金について、メールマガジンやボランティア活動未経験者層の参加促進講座（オンラインセミナー）で案内を行った。

「人材育成支援事業助成金 一般社団法人かながわ土地建物保全協会地建物保全協会」

※対象講座については、助成金の案内を同封するなどして対応。

「横須賀市 市民公益活動人材育成研修受講奨励金制度」

※受講決定通知を送付する際に、横須賀市民の受講生に奨励金の案内を同封している。

(10) 自由企画提案業務

- ・ 各講座初回に配布する「受講にあたっての連絡事項」をリニューアルし、「受講のしおり」を作成した（A4二つ折り 900 部）。※別添
- ・ 受講生、修了生への情報提供として以下の項目を行った。
 - 令和7年度修了生アンケート送付の際、活動の様子などを記入していただく近況報告シートを同封した。返信された近況報告シートは講義室1の廊下にあるコミュニケーションボードに順次掲示している。
 - 特別講座申込者にボランティア活動相談窓口のチラシ、ボランティアサロンリーフレットを同封し活動に役立つ情報提供を行った。
 - 県内の市町村、ボランティア活動支援施設、社会福祉協議会で発行している情報誌やチラシを講義室等に配架し情報提供を行った。
- ・ チラシや年間講座スケジュールがどのように配架されているか、ボランティア情報の収集や交流等を目的に、事務局スタッフが各施設に訪問した。

おだわら交流センターUMECO、追浜行政センター・追浜コミュニティセンター、横須賀市立勤労福祉会館（ヴェルクよこすか）、二俣川駅行政サービス、旭区民文化センターサンハート、横浜市西地区センター・西公会堂

- ・ かながわコミュニティカレッジ事務局スタッフに向けた個人情報保護研修を行った。また、スタッフの育成や他機関との連携を目的として外部研修や会議等に積極的に参加した。
事務局スタッフ個人情報保護研修 令和8年4月7日（火）
協働が社会にもたらすものとは（主催：横浜市市民協働推進センター）
令和8年6月3日（水）
多文化共生セミナー（主催：かながわ国際交流財団） 令和8年6月17日（水）
かながわ人生100歳ネットワーク通常会（6月） 令和8年6月22日（月）

2 所見（得られた成果、今後の業務実施の課題等について記載。）

開講予定の全37講座について、講座実施団体及び講師との事前打合せを実施し、カリキュラムの確認や日程調整等を計画的に進めることができた。また、年間講座スケジュール及び7・8月開講講座の募集チラシを5月20日までに作成・完成させたことで、広報活動を円滑に実施することができた。

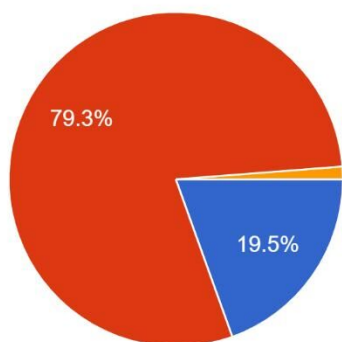
さらに、6月14日に開催した特別講座についても、早期から準備を進め、4月下旬のチラシ発送や5月1日号の県広報紙への掲載等により受講生の募集を行った。その結果、140名の申込みがあり、当日は122名が参加した。

令和8年度かながわコミュニティカレッジセミナー アンケート結果
 みんなの社会的処方 人のつながりで元気になれる地域をつくる

(回答数 82 名)

(1) 性別をお聞かせください

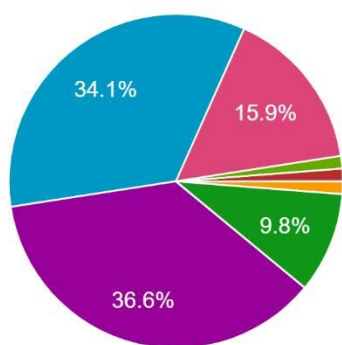
82 件の回答



● 男性 16 人 (19.5%)
 ● 女性 65 人 (79.3%)
 ● 未回答 1 人 (1.2%)

(2) 年齢を年代お聞かせください

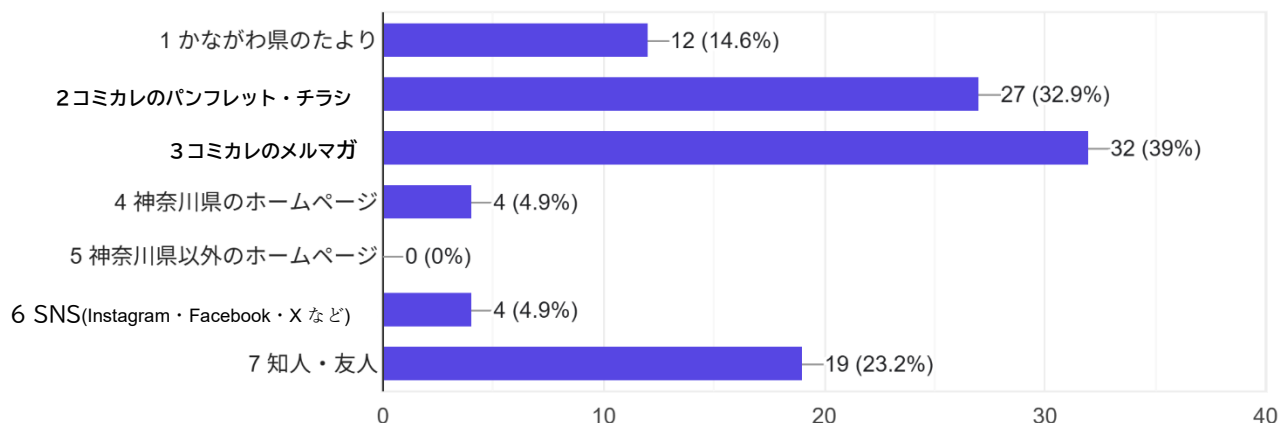
82 件の回答



● 10代 30代 1 人 (1.2%)
 ● 20代 40代 8 人 (9.8%)
 ● 30代 50代 30 人 (36.6%)
 ● 40代 60代 28 人 (34.1%)
 ● 50代 70代 13 人 (15.9%)
 ● 60代 80代 1 人 (1.2%)
 ● 70代 80代以上 1 人 (1.2%)
 ● 80代以上 未回答 1 人 (1.2%)
 ● 未回答

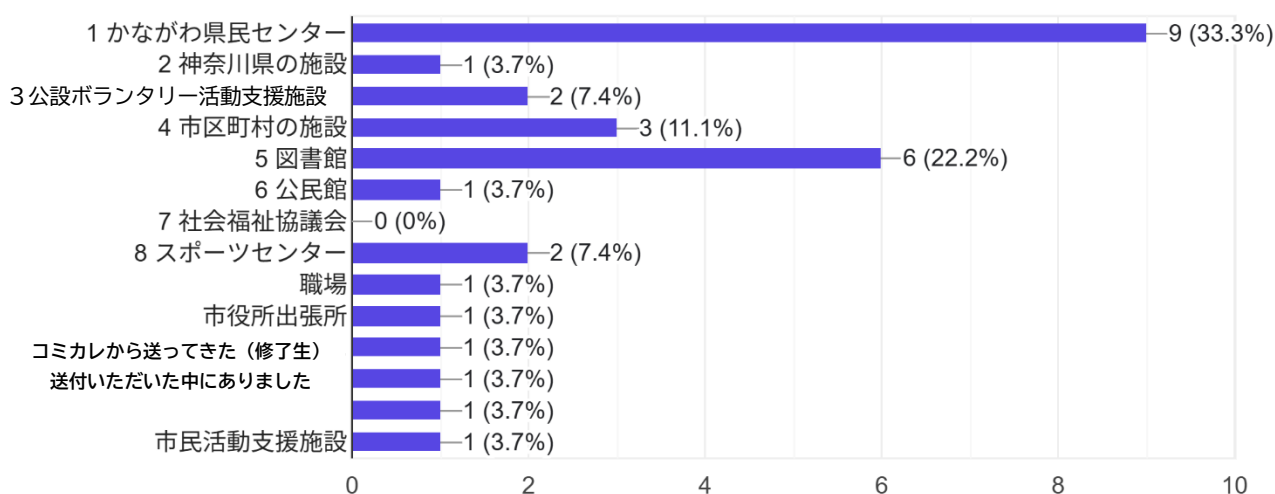
(3) このオンラインセミナーは何をとお知りになりましたか。(複数回答可)

82 件の回答



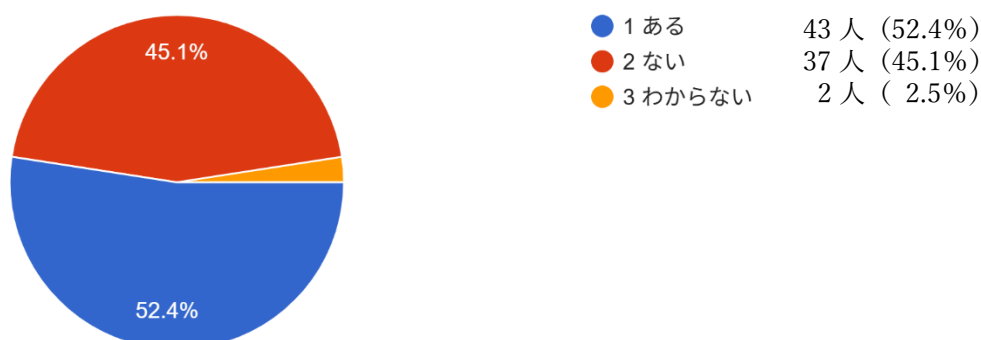
(3)で「2 かながわコミュニティカレッジのパンフレット・チラシ」を選択した方にお聞きします。
入手場所を次からお選びください。(複数選択可)

27 件の回答



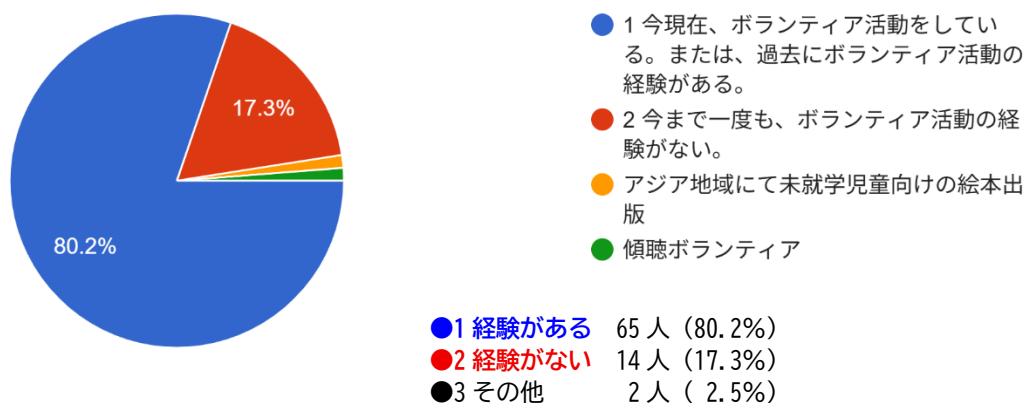
(4) 今までに、かながわコミュニティカレッジの講座を受講されたことがありますか。

82 件の回答



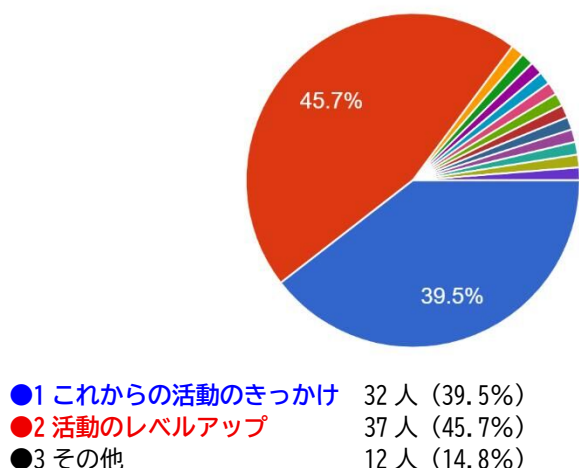
(5) 今までの、ボランティア活動の経験をお聞かせください。

81 件の回答



(6) 受講動機をお聞かせください。

81 件の回答



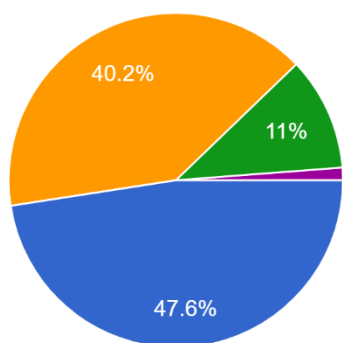
- 1 これからの活動のきっかけにしたい。
- 2 現在の活動のレベルアップを図りたい。

【その他 自由記述】

- 西講師のお話を聞きたかったから。
- 孤独と健康について、過去にも今も考える機会があり、ヒントがいただけたらありがたいと思ったので…。
- 知識を得たい
- 西先生の著書を拝読していたため
- 今後の自身のため
- 地域活動に興味があるため
- イギリスの community care や active Ageing に関心があるので
- 人のつながりの必要性について知りたかったから
- 新たな活動に参加したい
- 西さんのお話をぜひ聞きたいと思いました。

(7) 今回のオンラインセミナーを受けて、新たに地域活動に参加したいと思いましたか。

82 件の回答

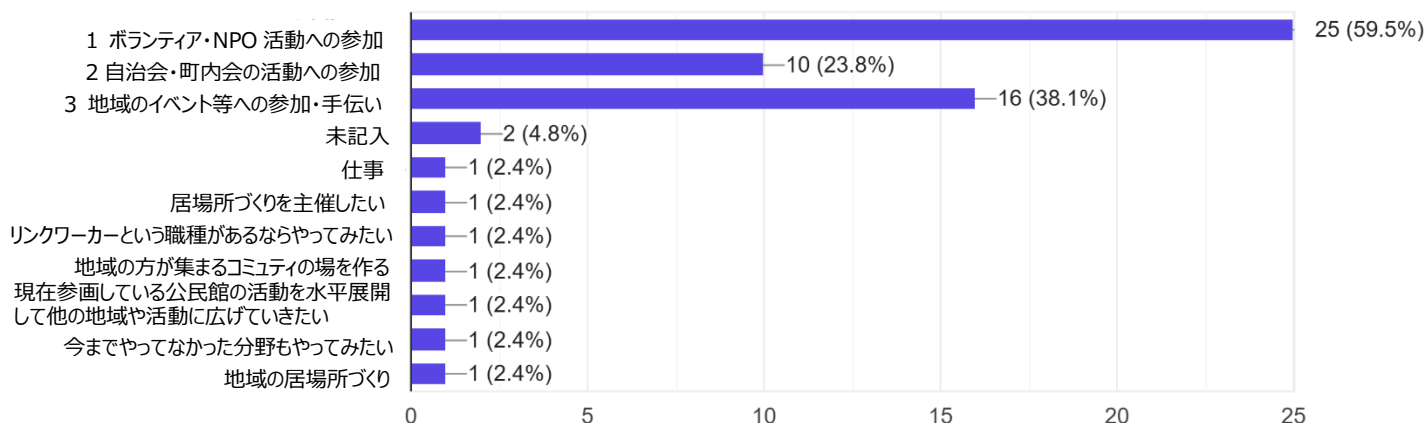


- 1 思った
- 2 思わなかった
- 3 既に参加している
- 4 どちらともいえない
- 5 仕事を辞めたら参加してみたい

- 1 思った 39 人 (47.6%)
- 2 思わなかった 0 人 (0%)
- 3 既に参加している 33 人 (40.2%)
- 4 どちらともいえない 9 人 (11.0%)
- 5 その他 1 人 (1.2%)

(7) で「1 思った」を選択した方にお聞きしま...に参加してみたいと思いますか。(複数選択可)

42 件の回答



(8)【感想】自由記述（一部抜粋）

- ・ 暮らしの保健室は、友人から話を聞いたことがあり、どんな活動なのか気になっていたもので、今日、お話を伺えてとても良かったです。自分の好きなことをやりながら人とつながれるようなことを何かはじめられたら楽しいなあ、と思いました。今日のお話をこころに留めながら、どんなことができるか、考えていきたいです。今日はどうもありがとうございました。
- ・ 身近なところからできそうなことのヒントをいただきました。ありがとうございます！
- ・ 人との繋がりの大切さを改めて実感しました。色々と新しい視点から学ぶことができました。
- ・ 社会的処方という言葉を知ったので興味深く、話の内容も分かりやすく同感出来る事ばかりだった。とても良い勉強になり、自分を含め今後の生き方に参考にさせていただきます。
- ・ 好きなことを心のままに優先していいと、エールを、いただけた。意味や目的も大切だけど、みんなと繋がりたいという、自分の気持ちが大切だと感じることができました。ありがとうございました。
- ・ 「孤独・孤立」が社会的に課題であることは承知しているが、どのようにして予防するのか、その考え方を学ぶことができた。
- ・ 気負うことなく、自分にできる範囲でおせっかいができればいいなと思いました。
- ・ ちょっとずつでも、自分にできることをいろんな人が意識をしていけたら、大きな支援に繋がりますね。これからも小さな繋がりから大切にしようと改めて思いました。
- ・ 「安心して孤独でいられる社会」という言葉とても印象に残りました。また、そこにある存在でありたいと思い現在活動しています。まさに、「手を伸ばした時に握り返せる存在」であれたらと思いました。貴重な研修をありがとうございました。
- ・ 釣りサークル、介護施設のアーティスト、ナミケーショonzの具体的なお話はとてもよかった。大上段に構えるのではなく、できることをしている、ボランティアする側が楽しんでいるというのが素晴らしいと思えた。ボランティア活動に少々重圧を感じているところだったので、肩の力を抜いてできる範囲で続けていこうと思えるありがたい内容だった。
- ・ 西先生の「社会的処方」の説明がわかりやすく大変良かったです。これからの社会に必須な取り組みだと思いました。全国に広がると良いと思いました。
- ・ 孤独は悪いことではなく、孤独に陥った人が手を差し伸べたときにその手を掴める地域であることが大切なのだと考えを新たにしました。
- ・ 地域住民がコミュニティコネクターになり、孤独・孤立の人に声掛けをするというのは素晴らしい仕組みだと思う。自分の住む地域に、この仕組みが作られ、参加することができれば良いと思う。
- ・ まずは自分がどういうことに興味があり、どんなことをしてみたいのかを考えるきっかけになりました。手を伸ばしたら、握り返してくれる、社会的に孤立しない地域にしたい、実現したいと思いました。
- ・ 社会の高齢化、単身化が急速に増えている世の中で、助ける側、助けられる側の両方の当事者であることを一人称で実感しながら毎日を送っています。社会全体の暖かく緩やかな繋がりをどのように育んでいけばよいのか考える参考になりました。
- ・ 気付きのあるお話でした。役割のある人を設定するのではなく、地域の一人ひとりが自分事として捉えること、ほんとにそうだなと思いました。また、個人を地域に繋げる際、その人の状況を否定せず、さらに自分の存在価値を感じられるような言葉がけが大切だと思いました。ありがとうございました。
- ・ 先生のお話しをお聞きして、いまのところはそっと手を差し出してあげられる立場を目指そうと思いました。自分が誰かの助けがほしくなったときに、手をつないでもらえる社会になっていることを願って。